

御堂筋の将来像を可視化する社会実験として、道路空間に休憩施設を設置します

御堂筋パークレット

社会実験を実施します

パークレット【parklet】とは、道路空間を活用した新しい公共空間です。にぎわいと憩い空間の創出をめざし設置します。パークレットは、どなたでもご利用いただけます。

設置場所

**本町
ガーデンシティ前**
(大阪市中央区本町3丁目6-4)

実験期間

2019年 8月1日(木) >>> 2020年 1月8日(水)

※図はイメージです。



お問い合わせ

大阪市建設局企画部企画課 (道路空間再編担当) TEL06-6615-6785 (平日: 9:00 ~ 17:30)



御堂筋パークレット社会実験について

御堂筋の将来像やにぎわいと憩い空間のあり方を検証します

- 2017年に実施した御堂筋完成80周年記念事業では、御堂筋の将来像を可視化するとともに、にぎわいと憩い空間のあり方などを検証するための社会実験として淀屋橋オドナ前の道路空間において休憩施設「パークレット」を設置しました。検証の結果、休憩施設そのものに対するニーズの高さをはじめ、快適性や満足度などについても総じて高い評価を確認しました。
- 前回の社会実験で検証ができなかった項目とともに、淀屋橋（西側歩道）と本町（東側歩道）といった場所の違いによるニーズや安全性を検証するため、社会実験として本町ガーデンシティ前の道路空間においてあらためて休憩施設の設置を行います。



(写真)2017年 淀屋橋odona前での社会実験

▶ 社会実験の検証概要

その1 「本町での」にぎわいと憩い空間の創出方法の検証

淀屋橋に引き続き、大阪のビジネス拠点である本町においてパークレットの休憩施設としての効果を確認するため、利用者や沿道地域などを対象としたアンケート調査を行い、利用目的を確認するとともに、利用に関する満足度やニーズなどについて検証を行います。



その2 「東側歩道での」交通影響・安全性の検証

パークレットの設置により道路の通行機能に問題が生じていないか影響調査を行い、歩行者、自転車、自動車がそれぞれ安全に通行できるか検証を行います。前回の社会実験では西側の歩道に休憩施設を設置しましたが、今回は東側歩道に休憩施設を設置し、左側通行（御堂筋東側）である自転車の通行をふまえた安全性の検証を行います。



その3 広告掲出の具体的なニーズや広告マネジメント等の検証

点検や保安費など、休憩施設には維持管理費が必要になりますが、その費用の調達にあたっては広告による収益事業があげられます。実際に広告主や広告代理店等を募集することにより、休憩施設における広告の具体的な市場ニーズを確認するとともに、広告デザインのあり方や広告事業を通じた施設マネジメントの検証を行います。



その4 まちづくり団体による施設マネジメントの検証

まちづくり団体が実施する、本町ガーデンシティ壁面後退部でのキッチンカーイベントに合わせて、同団体がパークレットの快適性を高めることを目的としてパラソルの設置を行います。こうした、民間による施設のマネジメントについて、そのあり方や仕組み等の検証を行います。



その5 年間を通じた検証

前回の社会実験は、秋から春にかけて実施しました。夏から冬にかけて実験を行うことにより、年間を通じたニーズや課題について検証を行います。



《社会実験で協力のお願い》
パークレットでは、以下の行為を禁止しています

- 喫煙・火気・危険物品持込み
- ごみなどのポイ捨て
- 自転車の乗り入れ・駐輪
- 騒音等による迷惑行為
- 不法占拠
- 座面の上に立つなどの危険行為



愛称名「いちようテラス本町」について

愛称名の「いちようテラス本町」は、前回 2017 年度の社会実験時に愛称募集を行い、応募総数 93 件のなかから選考した「いちようテラス淀屋橋」を、今回のパークレット設置場所である本町版としたものです。より多くの方に親しみを持っていただけるよう、今回の社会実験でも引き続きその愛称名を活用しています。